

再開発地区での大気状況測定結果総括表

1 二酸化いおう

街開き後1年間：全地点達成

環境基準等		H14年秋 (H14.10～ H15.1)	H15年春 (H15.3～ H15.4)	H16年夏 (H16.6～ H16.9)	H16年秋 (H16.10～ H16.12)	H16年冬 (H17.1～ H17.3)	H17年春 (H17.4～ H17.6)	H17年夏 (H17.7～ H17.9)	H17年秋 (H17.10～ H17.12)	H17年冬 (H18.1～ H18.3)	H18年春 (H18.4)	備考
環境基準	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下	(0.013)	(0.016)	(0.017)	(0.011)	(0.012)	(0.016)	(0.016)	(0.008)	(0.019)	(0.014)	()内は期間内の最大値
	1時間値が0.1ppm以下	(0.044)	(0.031)	(0.064)	(0.032)	(0.031)	(0.034)	(0.038)	(0.020)	(0.043)	(0.034)	"

1.二酸化いおうにつきましては、環境基準と環境目標値は、同じです。

2 二酸化窒素

街開き後1年間：全地点達成

環境基準等		H14年秋 (H14.10～ H15.1)	H15年春 (H15.3～ H15.4)	H16年夏 (H16.6～ H16.9)	H16年秋 (H16.10～ H16.12)	H16年冬 (H17.1～ H17.3)	H17年春 (H17.4～ H17.6)	H17年夏 (H17.7～ H17.9)	H17年秋 (H17.10～ H17.12)	H17年冬 (H18.1～ H18.3)	H18年春 (H18.4)	備考
環境基準	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下	(0.013)	(0.010)	(0.031)	(0.012)	(0.039)	(0.028)	(0.030)	(0.036)	(0.040)	(0.032)	()内は期間内の最大値
千葉市環境目標値	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下	(0.013)	(0.010)	(0.031)	(0.012)	(0.039)	(0.028)	(0.030)	(0.036)	(0.040)	(0.032)	"

3 浮遊粒子状物質

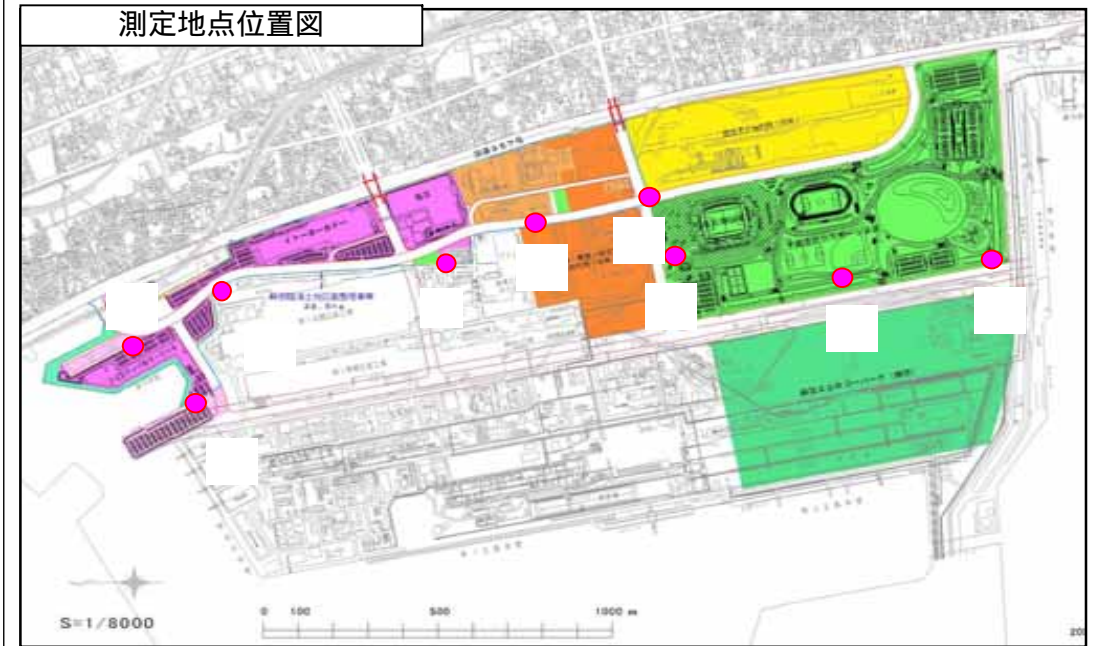
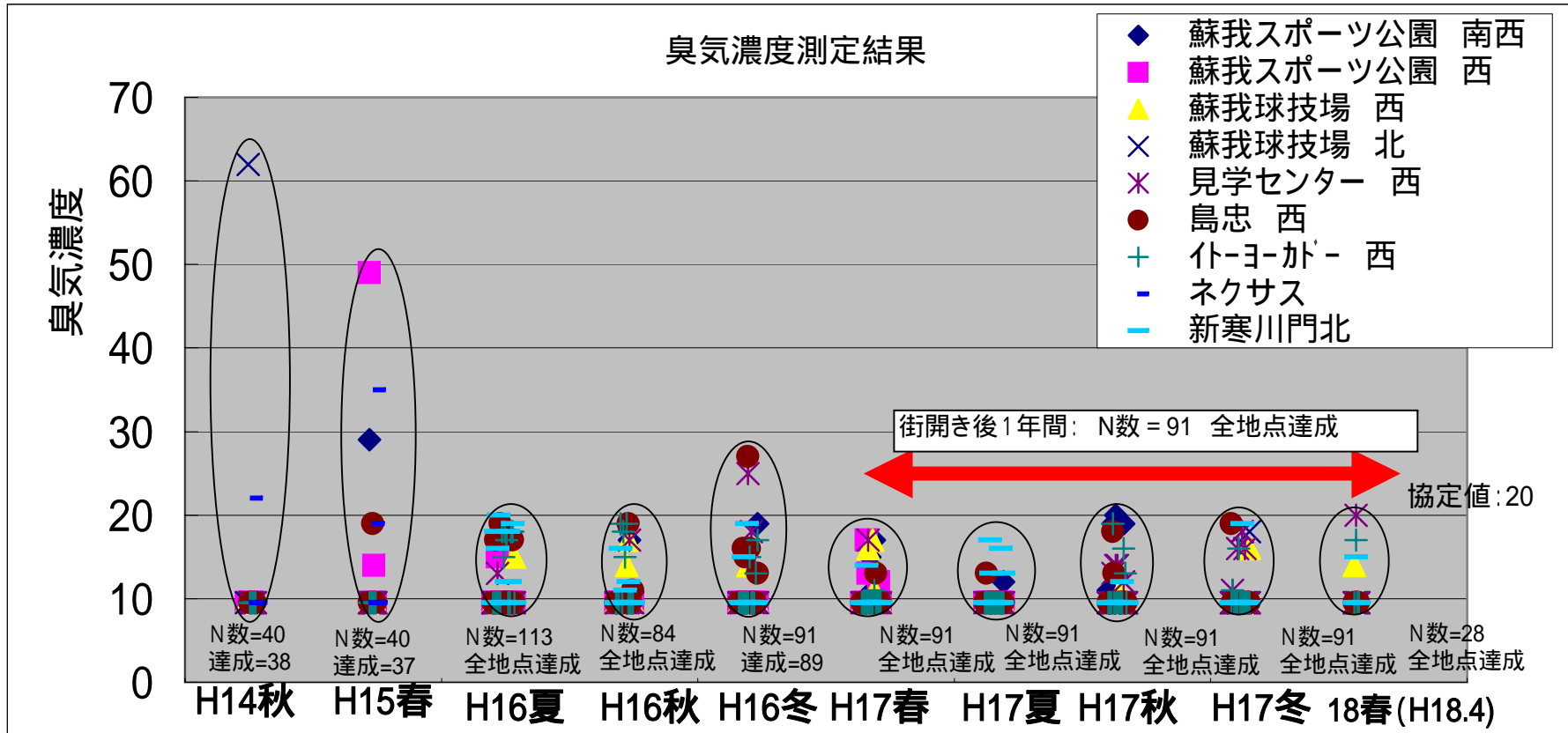
街開き後1年間：全地点達成

環境基準等		H14年秋 (H14.10～ H15.1)	H15年春 (H15.3～ H15.4)	H16年夏 (H16.6～ H16.9)	H16年秋 (H16.10～ H16.12)	H16年冬 (H17.1～ H17.3)	H17年春 (H17.4～ H17.6)	H17年夏 (H17.7～ H17.9)	H17年秋 (H17.10～ H17.12)	H17年冬 (H18.1～ H18.3)	H18年春 (H18.4)	備考
環境基準	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下	(0.10)	(0.06)	(0.058)	(0.087)	(0.084)	(0.055)	(0.069)	(0.067)	(0.085)	(0.069)	()内は期間内の最大値
	1時間値が0.20mg/m ³ 以下	(0.20)	(0.20)	(0.129)	(0.150)	(0.191)	(0.085)	(0.100)	(0.129)	(0.133)	(0.131)	"

2.浮遊粒子状物質につきましては、環境基準と環境目標値は、同じです。

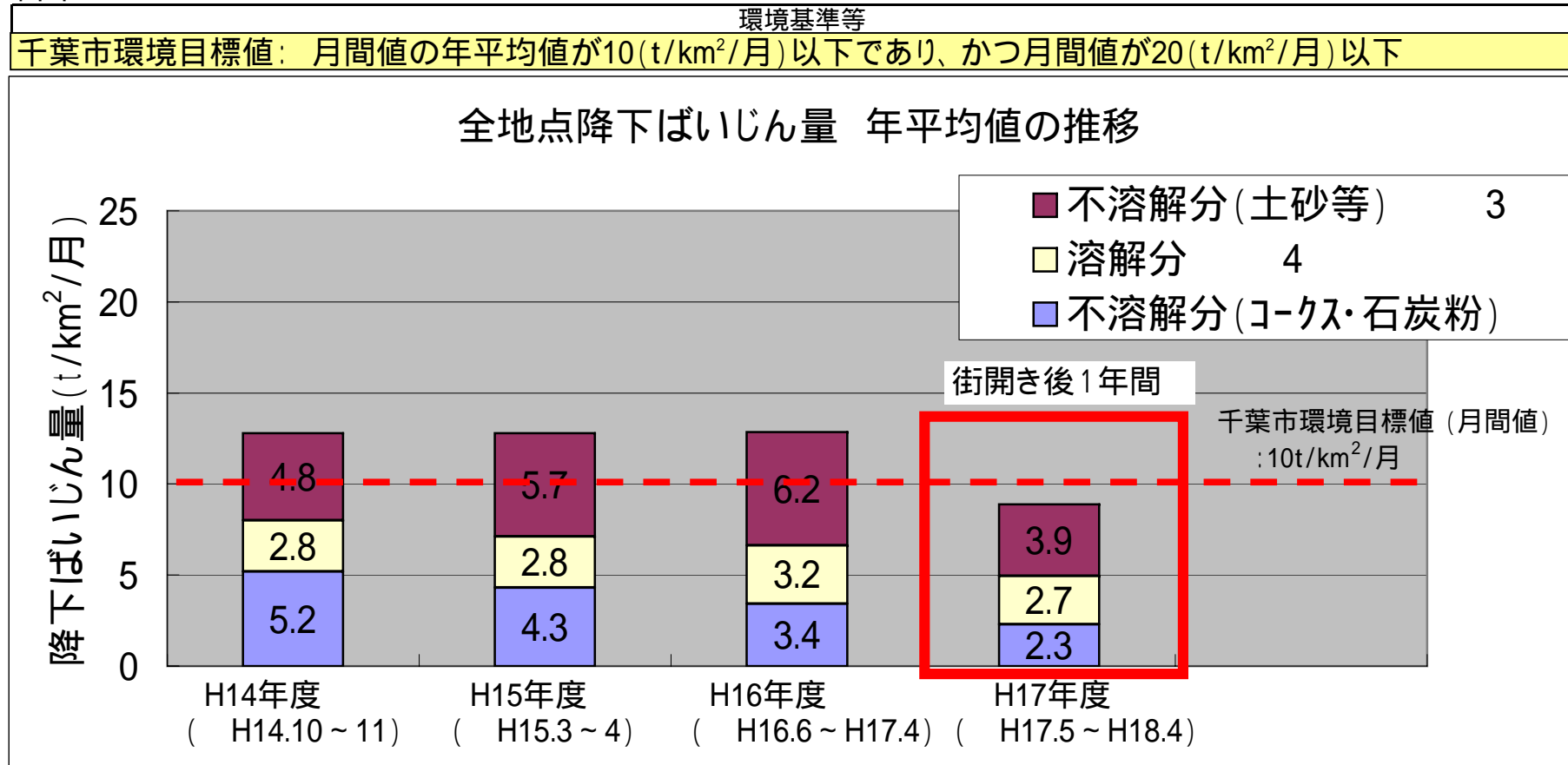
4 悪臭

敷地境界における協定値： 臭気濃度20以下

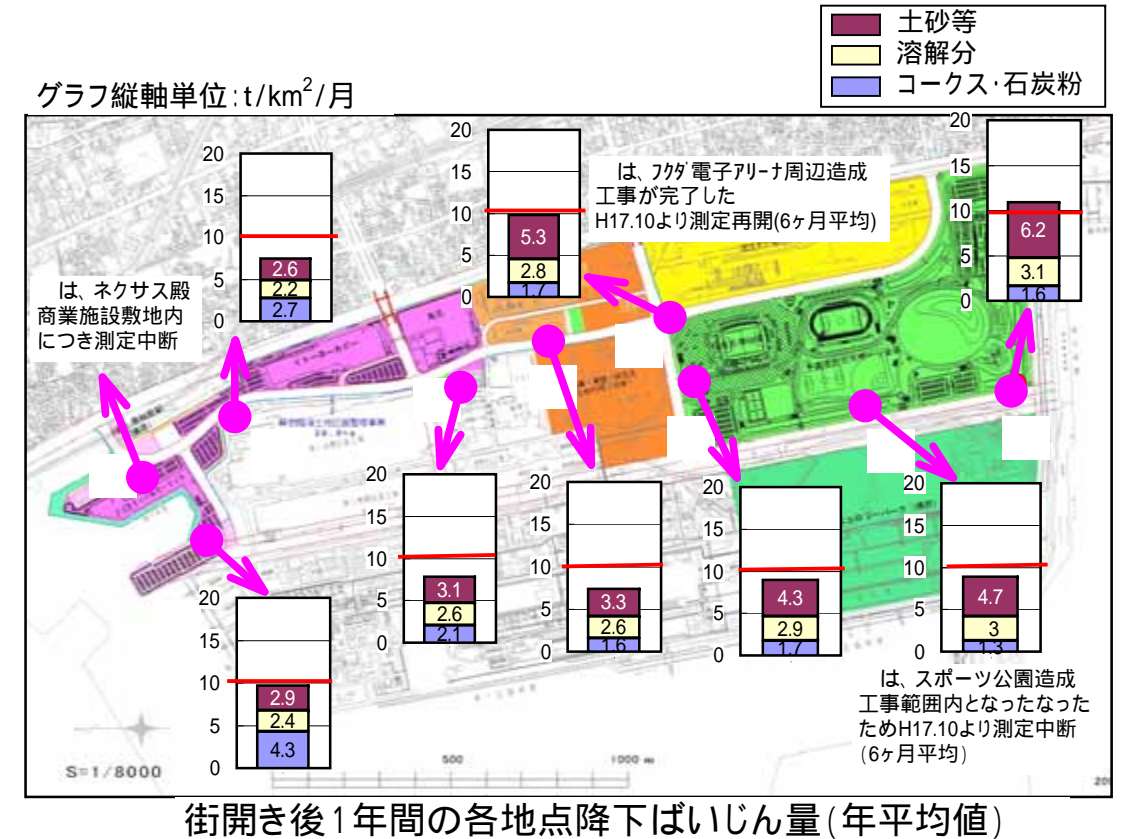


蘇我球技場 西 については、造成工事開始につき、H17.10より測定中断。
 蘇我球技場 北 については、造成工事完了につき、H17.10より測定開始。
 ネクサス については、商業施設内につき、H16.7より測定中断中。

5 降下ばいじん

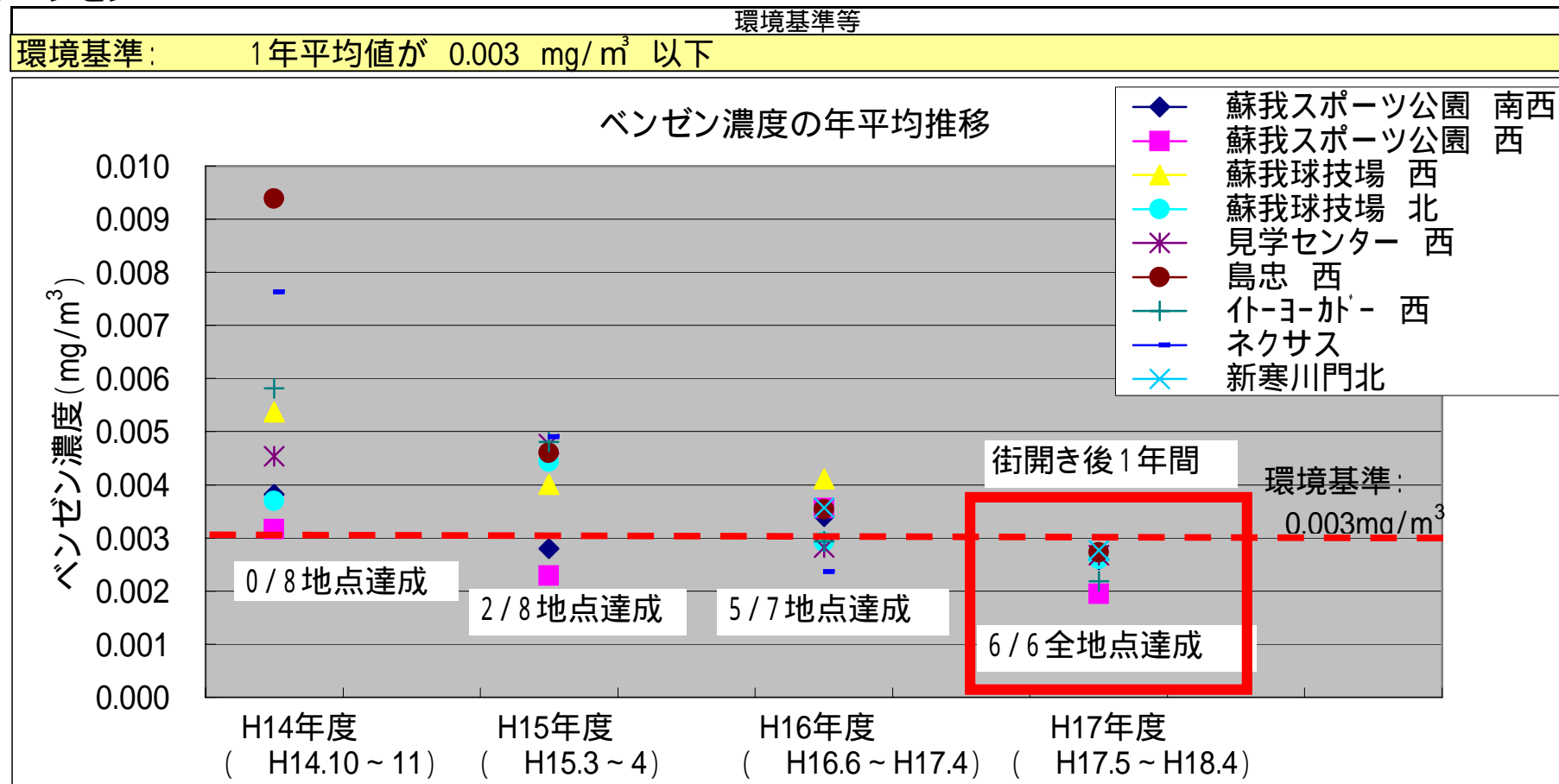


3 不溶解分(土砂分等)には、蘇我臨海部地区内の解体、造成等基盤整備工事等の要因も含まれます。
 4 溶解分: ナトリウム、マグネシウム等の可溶成分。海域からの飛来する塩分が主体。



街開き後1年間の評価:
 ・地点別の年間平均値を上図に示します。
 再開発地区造成工事からの土砂による影響も含んでいる 地点を除き、いずれも千葉市環境目標値を達成しております。

6 ベンゼン



〔備考〕
 各項目の分析業者等につきましては、以下のようになっております。
 1) 二酸化いおう : 自動連続分析計 (東亜ディ・ケ・ケ-(GRH76M1): レンタル機器) の出力値です。
 2) 二酸化窒素 : 自動連続分析計 (東亜ディ・ケ・ケ-(GPH74M1) レンタル機器) の出力値です。
 3) 浮遊粒子状物質: 自動連続分析計 (東亜ディ・ケ・ケ-(GRH76M1): レンタル機器) の出力値です。
 4) 悪臭: 中外テクノス(株) 関東環境技術センター
 5) 降下ばいじん量: 日廣産業(株) 環境技術センター
 6) ベンゼン: JFEテクノリサーチ(株) 分析・評価事業部 倉敷事業所 および 千葉事業所